

---

# 経済 TOPICS

No. 208  
(2023年1月24日)

## 景気ウォッチング（要旨）

- 日本 … 生産と輸出が横這い圏内の動きとなっているものの、消費が緩やかに持ち直しているほか、雇用も改善傾向にあることから、全体としては緩やかに持ち直している。この間、資源・食料価格の高騰に伴う物価上昇や、欧米諸国の金融引締めに伴う経済減速の影響が懸念されるなど、先行き不透明感が強い状態が続いている。
- 米国 … 中古住宅販売が減少し続け、非製造業の景況感も悪化するなど、金融引締めの影響が徐々に強まっているが、消費や設備投資が堅調を維持し、雇用もタイトな状態が続いていることから、全体としては回復を続けている。消費者物価は、ピークアウトした可能性がある。
- 欧州 … 生産は横這い圏内の動きながら、輸出や消費が改善していることから、緩やかに持ち直している。この間、ロシアのウクライナ侵攻の長期化に伴い、景況感が悪化しているほか、インフレが継続している。
- 中国 … 生産は横這い圏内の動きとなっているものの、輸出が減少傾向にあるほか、消費が低迷し、不動産開発投資が大幅に減少し続けていることから、全体としては減速し続けている。



京都銀行グループ

京都総合経済研究所

---